



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

記事を読んで、問いに答えなさい。

2021年12月8日朝刊



太平洋クロマグロの資源管理を議論する国際会議は7日開幕し、2022年から日本近海を含む中西部太平洋海域で、大型魚（30kg以上）の漁獲枠を21年比で15%増やすことを正式決定した。今年はいまだ2回開かれた国際会議で合意を維持。今回から議論に加わった国・地域の合意も取り付けた。15年に現行の漁獲規制が導入されて以降、初めての増枠となる。

国際会議決定



資源回復 現行規制下で初

クロマグロ漁獲枠 %増

①見出しの□に当てはまる数字を書きなさい。

②2022年から日本の太平洋クロマグロの漁獲枠を増やすという提案が認められた理由は何か。

日本は18年から4年連続で増枠を提案。昨年までは米国や島しょ国の反対で退けられていた。今年はいまだ資源が回復傾向にあるとのデータを基に交渉が進展し、前向きな姿勢に転じた。交渉に当たった水産庁の高瀬美和子審議官は7日の記者会見で、合意に至った要因は、増枠は全体の2%程度

だ。ただ、日本近海で取れた天然ものは特に人気が高いとされ、店頭への流通量増加や値下がりにつながれば消費者に恩恵となる。会議では成育途上で今後の資源管理に影響が出やすい小型魚は4007tで据え置いた。増枠は漁業関係者が望んでいた。今後は都道府県や漁法ごとの漁獲枠をどう配分するかが焦点。水産庁は10日に開く漁業関係者向けの説明会で22年の配分案を示し、14日の水産政策審議会の分科会で決定する見通し。今回の会議は、中西

Q クロマグロ類の中でも最高級品とされる、本マグロとも呼ばれる。世界各地に生息しており、太平洋クロマグロとは別種の大西洋クロマグロは、大西洋まぐろ類保存国際委員会（ICCAT）が

資源管理を行っていない。日本は輸入や養殖生産も盛んで、水産庁が推計した2019年の供給量は、太平洋クロマグロが約3万1700t、大西洋クロマグロが約2万5600t。

③日本の太平洋クロマグロの漁獲枠増は消費者にとってどんなことが期待できるか。

④日本の太平洋クロマグロの漁獲枠に関して、今後の課題と考えられることは何か。

年 組 名前

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

（中学校～高校／社会・技術・家庭・総合）



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

記事を読んで、問いに答えなさい。

解答例

2021年12月8日朝刊



太平洋クロマグロの資源管理を議論する国際会議は7日開幕し、2022年から日本近海を含む中西部太平洋海域で、大型魚（30kg以上）の漁獲枠を21年比で15%増やすことを正式決定した。今年はいまだ2回開かれた国際会議で合意を維持。今回から議論に加わった国・地域の合意も取り付けた。15年に現行の漁獲規制が導入されて以降、初めての増枠となる。

国際会議決定



資源回復 現行規制下で初

クロマグロ漁獲枠 %増

①見出しの□に当てはまる数字を書きなさい。

(15)

②2022年から日本の太平洋クロマグロの漁獲枠を増やすという提案が認められた理由は何か。

(例) 資源が回復するというデータを基に交渉が進展し、反対国が前向きな姿勢に転じたから。

日本は18年から4年連続で増枠を提案。昨年までは米国や島しょ国の反対で退けられていた。今年はいまだ資源が回復傾向にあるとのデータを基に交渉が進展し、前向きな姿勢に転じた。交渉に当たった水産庁の高瀬美和子審議官は7日の記者会見で、合意に至った要因は、増枠が決定したマグロの管理区域で、増枠は全体の2%程度

だ。ただ、日本近海で取れた天然ものは特に人気が高いとされ、店頭への流通量増加や値下がりにつながれば消費者に恩恵となる。会議では成育途上で今後の資源管理に影響が出やすい小型魚は4007tで据え置いた。増枠は漁業関係者が都道府県や漁法ごとの漁獲枠をどう配分するかが焦点。水産庁は10日に開く漁業関係者向けの説明会で22年の配分案を示し、14日の水産政策審議会の分科会で決定する見通し。今回の会議は、中西

部太平洋まぐろ類委員会(WCPFC)の年次会合。米国や韓国、太平洋の島しょ国など26カ国・地域が1日からウェブ会議形式で議論していた。会議では、漁獲枠の未利用分を翌年に繰り越す上限に關し、5%から17%に拡大する現行の特例措置を3年間延長することでも決定。小型魚枠の一部を大型魚枠に振り替えられる措置を継続することでも合意した。今後3年間、小型魚枠の10%を上限に、1・47倍に換算した量を大型魚枠に充てられるようになる。

Q クロマグロ類の中でも最高級品とされる本マグロとも呼ばれる。世界各地に生息しており、太平洋クロマグロとは別種の大西洋クロマグロは、大西洋まぐろ類保存国際委員会(ICCAT)が資源管理を行つてい

③日本の太平洋クロマグロの漁獲枠増は消費者にとってどんなことが期待できるか。

(例) 店頭への流通量増加や値下がりにつながる(という恩恵)。

④日本の太平洋クロマグロの漁獲枠に関して、今後の課題と考えられることは何か。

((例) 都道府県や漁法ごとの漁獲枠をどう配分するか。)

年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(中学校～高校/社会・技術・家庭・総合)